−臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い−

現在、腎臓小児科では、本学で保管している診療後の残余検体と診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

［研究課題名］ 巣状分節性糸球体硬化症移植後再発における抗 nephrin 抗体の関与

［研究対象者のうち、この情報公開文書の対象者］

腎臓小児科に通院または入院し、巣状分節性糸球体硬化症より末期腎不全にいたり、1993年1月から2024月2月5日までの間に腎移植を行ない、現在は当院に通院されていない患者さん

［利用している残余検体・診療情報等の項目］

残余検体：移植後巣状分節性糸球体硬化症の再発予防措置のために移植前に血漿交換を行った時、または再発診断時、および尿蛋白が陽性で再発中の時点で、治療として行われた血漿交換の排液のうち 1.5mL

移植手術時血流再開前、血流再開１時間、その後の移植腎生検で移植後巣状分節性糸球体硬化症の再発と診断された時点の移植腎生検の残余検体の一部、5mg 程度

診療情報等：年齢、性別、血液検査（TP, Alb, Cr, BUN)、尿検査(尿蛋白、尿中クレアチニン）、治療内容、腎生検病理所見、ドナー情報（年齢、性別）等

［利用の目的］ （遺伝子解析研究： 無 ）

移植後再発状分節性糸球体硬化症への抗nephrin抗体およびその他の自己抗体の関与を解明することを目的としています。

［主な共同研究機関及び研究責任者］

1. 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院　後藤芳充
2. 北海道大学大学院 医学研究院　堀田記世彦
3. 新潟大学大学院医歯学総合研究科　成田一衛
4. 東京慈恵会医科大学附属病院腎臓・高血圧内科　横尾隆

［研究実施期間］ 倫理審査委員会承認後より2028年12月までの間（予定）

［この研究での検体・診療情報等の取扱い］

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

［機関長、**研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者**］

機関長：東京女子医科大学　理事長　清水治

研究責任者：東京女子医科大学　腎臓小児科　教授　三浦健一郎

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学　講師　白井陽子

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9 時～16 時）